

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	南アフリカ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて南アフリカランド建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	南アフリカ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	南アフリカランド建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

Navio 南アフリカ債券ファンド



第60期（決算日：2017年4月18日）
 第61期（決算日：2017年5月18日）
 第62期（決算日：2017年6月19日）
 第63期（決算日：2017年7月18日）
 第64期（決算日：2017年8月18日）
 第65期（決算日：2017年9月19日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「Navio 南アフリカ債券ファンド」は、去る9月19日に第65期の決算を行いましたので、法令に基づいて第60期～第65期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額	
	(分配落)	税込 分配	み 金	期 騰	中 落				J P モ ル ガ ン G B I - E M (円ベース)
	円		円			%	%	百万円	
36期(2015年4月20日)	10,024		45		1.4	439.38	1.6	96.6	316
37期(2015年5月18日)	10,191		45		2.1	450.61	2.6	96.4	322
38期(2015年6月18日)	9,800		45	△	3.4	434.38	△ 3.6	95.3	313
39期(2015年7月21日)	9,933		45		1.8	444.86	2.4	94.2	317
40期(2015年8月18日)	9,572		45	△	3.2	432.11	△ 2.9	94.9	303
41期(2015年9月18日)	8,752		45	△	8.1	399.52	△ 7.5	94.8	277
42期(2015年10月19日)	9,094		45		4.4	413.97	3.6	94.9	288
43期(2015年11月18日)	8,379		45	△	7.4	385.57	△ 6.9	94.3	266
44期(2015年12月18日)	7,423		45	△	10.9	342.33	△ 11.2	91.9	241
45期(2016年1月18日)	6,249		45	△	15.2	291.87	△ 14.7	95.7	204
46期(2016年2月18日)	6,873		45		10.7	323.76	10.9	95.2	229
47期(2016年3月18日)	6,820		45	△	0.1	325.86	0.6	95.0	228
48期(2016年4月18日)	6,895		45		1.8	333.67	2.4	94.8	231
49期(2016年5月18日)	6,398		45	△	6.6	309.42	△ 7.3	94.0	218
50期(2016年6月20日)	6,517		45		2.6	311.95	0.8	94.7	226
51期(2016年7月19日)	7,059		45		9.0	344.95	10.6	95.9	244
52期(2016年8月18日)	7,313		45		4.2	360.55	4.5	95.8	253
53期(2016年9月20日)	7,044		45	△	3.1	349.54	△ 3.1	97.5	246
54期(2016年10月18日)	6,986		45	△	0.2	349.65	0.0	97.6	243
55期(2016年11月18日)	7,133		45		2.7	362.03	3.5	95.9	245
56期(2016年12月19日)	7,823		45		10.3	399.70	10.4	94.2	270
57期(2017年1月18日)	8,020		45		3.1	411.41	2.9	94.6	281
58期(2017年2月20日)	8,241		45		3.3	425.53	3.4	94.8	291
59期(2017年3月21日)	8,647		45		5.5	452.48	6.3	95.5	319
60期(2017年4月18日)	7,744		45	△	9.9	403.48	△ 10.8	95.1	283
61期(2017年5月18日)	7,922		45		2.9	422.58	4.7	96.8	291
62期(2017年6月19日)	8,267		45		4.9	436.93	3.4	95.7	303
63期(2017年7月18日)	8,217		45	△	0.1	442.70	1.3	95.5	302
64期(2017年8月18日)	7,835		45	△	4.1	429.14	△ 3.1	94.9	290
65期(2017年9月19日)	8,037		45		3.2	437.34	1.9	95.8	301

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J PモルガンG B I - E M 南アフリカ(円ベース)は、J PモルガンG B I - E Mグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)のサブインデックスです。J PモルガンG B I - E Mグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)とは、J . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマーゼンジン債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマーゼンジン債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。著作権はJ . P . モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南アフリカ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		円	騰落率	(円ベース)	騰落率		
第60期	(期首) 2017年3月21日	8,647	—	452.48	—	95.5	—
	3月末	8,081	△6.5	437.44	△3.3	96.5	—
	(期末) 2017年4月18日	7,789	△9.9	403.48	△10.8	95.1	—
第61期	(期首) 2017年4月18日	7,744	—	403.48	—	95.1	—
	4月末	7,928	2.4	416.65	3.3	95.8	—
	(期末) 2017年5月18日	7,967	2.9	422.58	4.7	96.8	—
第62期	(期首) 2017年5月18日	7,922	—	422.58	—	96.8	—
	5月末	8,076	1.9	426.67	1.0	96.1	—
	(期末) 2017年6月19日	8,312	4.9	436.93	3.4	95.7	—
第63期	(期首) 2017年6月19日	8,267	—	436.93	—	95.7	—
	6月末	8,107	△1.9	435.90	△0.2	95.8	—
	(期末) 2017年7月18日	8,262	△0.1	442.70	1.3	95.5	—
第64期	(期首) 2017年7月18日	8,217	—	442.70	—	95.5	—
	7月末	8,022	△2.4	433.77	△2.0	95.6	—
	(期末) 2017年8月18日	7,880	△4.1	429.14	△3.1	94.9	—
第65期	(期首) 2017年8月18日	7,835	—	429.14	—	94.9	—
	8月末	8,027	2.5	434.12	1.2	95.4	—
	(期末) 2017年9月19日	8,082	3.2	437.34	1.9	95.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

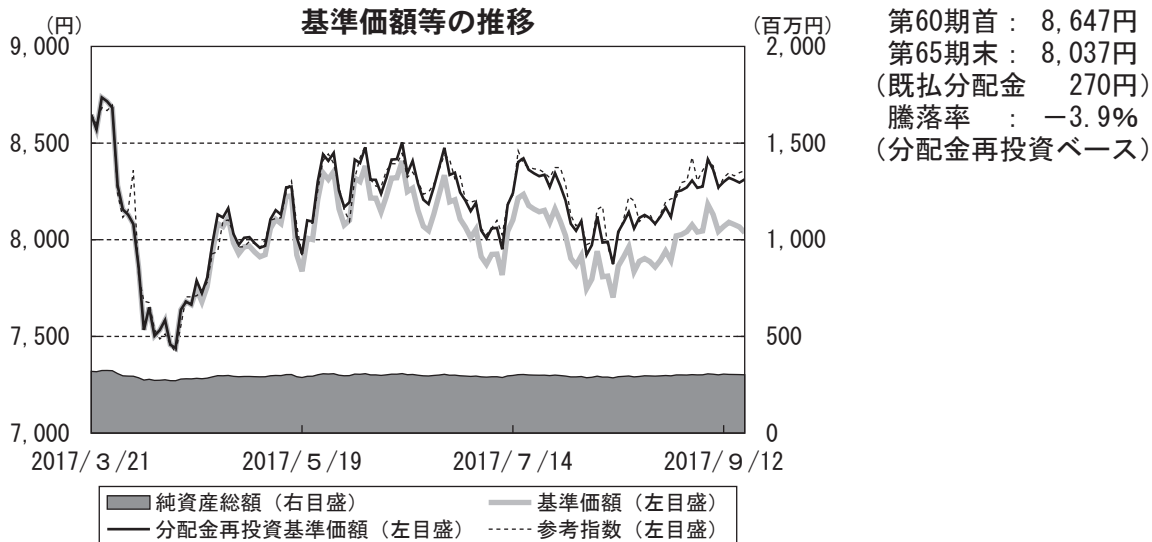
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第60期～第65期：2017/3/22～2017/9/19)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.9% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

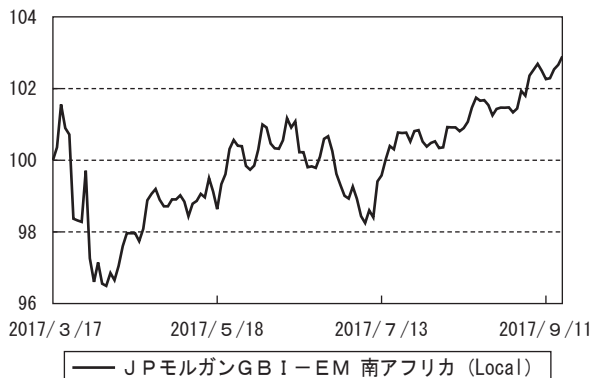
基準価額の主な変動要因

上昇要因	南アフリカの中短期ゾーン中心に金利が低下したことや債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	南アフリカランドが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第60期～第65期：2017/3/22～2017/9/19)

債券市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・南アフリカの債券市場では、中短期ゾーン中心に金利は低下した一方、長期ゾーンの金利はほぼ横ばいとなりました。
- ・2017年3月末に、ズマ大統領がゴードン前財務相を解任するなど、内閣改造が実施されました。結果、政治的不透明感が高まり、格下げリスクが意識されたことから、金利は上昇して始まりました。6月中旬にかけては欧州の政治的不透明感が後退したことなどでリスクセンチメントが改善したことから、金利は低下基調となりました。その後、6月下旬にカナダ銀行（BOC）・英国中央銀行（BOE）などの高官らが相次いで超金融緩和策の解除を検討する必要があると発言したことなどから、南アフリカの金利は上昇する場面も見られたものの、南アフリカ準備銀行が7月下旬の金融政策委員会において政策金利を7%から6.75%に引き下げたことや8月下旬に発表された消費者物価指数（CPI）の伸びが低下し、追加利下げ観測が高まった結果、中短期ゾーン主導で金利は低下しました。作成期を通じて見ると中短期ゾーンの金利は低下、長期ゾーンの金利はほぼ横ばいで終わりました。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・南アフリカランドは対円で下落しました。
- ・前述のとおり南アフリカ国内の政治的不透明の高まりなどを背景に2017年3月下旬から4月中旬にかけて南アフリカランドは対円で下落しました。その後は、投資家のリスクセンチメントが改善したため、南アフリカランドは対円で反発したものの、5月以降は概ねレンジ内の動きとなり、作成期を通じて見ると、南アフリカランドは対円で下落して終わりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<Navio 南アフリカ債券ファンド>

- ・南アフリカ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて南アフリカランド建ての債券に実質的な投資をしました。

<南アフリカ債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ3.2%の下落となりました。

- ・南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当作成期首から2017年3月末にかけては、政局の不透明感が高まったことなどから参考指数比中立としました。その後、欧州の政治的不透明感の後退や米国の追加利上げペースが穏やかになるとの観測に加え、自国通貨高などを背景に南アフリカのインフレ率が改善する中、利下げ観測の高まりによる金利低下を見込み、参考指数比長めとしました。
- ・南アフリカの中短期ゾーン中心に金利が低下したことや債券の利子収入を享受したことなどによるプラス要因を、南アフリカランドが対円で下落したことなどによるマイナス要因が上回り、基準価額は下落しました。

(ご参考)

利回り・デュレーション

作成期首 (2017年3月21日)

最終利回り	8.4%
直接利回り	8.1%
デュレーション	7.3年

作成期末 (2017年9月19日)

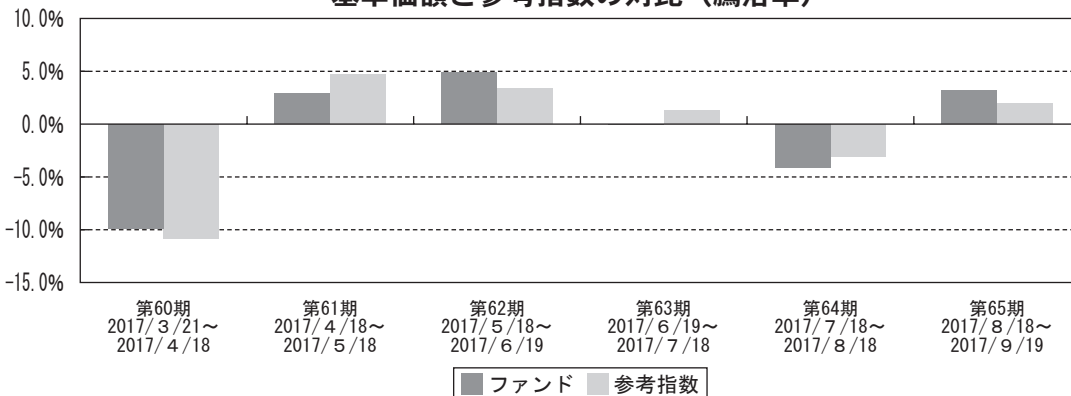
最終利回り	8.9%
直接利回り	8.5%
デュレーション	8.0年

- ・ 数値は債券現物部分で計算しております。
- ・ 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・ 直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・ 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・ デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

(第60期～第65期：2017/3/22～2017/9/19)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



- ・ ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・ 当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド (ベビーファンド) の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・ 参考指数はJPモルガンGBI-EM南アフリカ (円ベース) です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2017年3月22日～ 2017年4月18日	2017年4月19日～ 2017年5月18日	2017年5月19日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月18日	2017年8月19日～ 2017年9月19日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率)	0.578%	0.565%	0.541%	0.545%	0.571%	0.557%
当期の収益	42	45	45	45	45	45
当期の収益以外	2	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,053	2,061	2,076	2,078	2,081	2,093

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<N a v i o 南アフリカ債券ファンド>

◎今後の運用方針

- ・南アフリカ債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<南アフリカ債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・南アフリカの貿易相手国として重要な中国の景気減速懸念の後退やグローバル経済の堅調さなどから、外部環境は比較的良好な状況が継続しやすいとみています。
- ・一方で、南アフリカの国内経済においては、中間所得層の増加などを背景に底堅い個人消費の伸びが期待されるものの、若年層を中心とした失業率の高さ、電力不足による生産活動の低迷などを背景に景気回復の速度は緩慢であるとみています。
- ・今後は、自国通貨の安定などを背景とした高インフレの是正や経常収支面の改善など、マクロファンダメンタルズの動向を注視しつつ、国内の政治状況や格付会社動向については留意が必要です。

◎今後の運用方針

(組入比率)

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

(種別構成)

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

(デュレーション)

- ・南アフリカの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月22日～2017年9月19日)

項 目	第60期～第65期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(27)	(0.340)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.340)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.029	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	58	0.730	
作成期中の平均基準価額は、8,040円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年3月22日～2017年9月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第60期～第65期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
南アフリカ債券マザーファンド	千口 15,386	千円 17,926	千口 21,722	千円 25,562

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月22日～2017年9月19日)

利害関係人との取引状況

<N a v i o 南アフリカ債券ファンド>

該当事項はございません。

<南アフリカ債券マザーファンド>

区 分	第60期～第65期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 6	百万円 —	% —	百万円 9	百万円 2	% 22.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月22日～2017年9月19日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 300	百万円 —	百万円 —	百万円 300	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2017年9月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第59期末	第65期末	
	口 数	口 数	評 価 額
南アフリカ債券マザーファンド	千口 257,277	千口 250,941	千円 300,753

○投資信託財産の構成

(2017年9月19日現在)

項 目	第65期末	
	評 価 額	比 率
南アフリカ債券マザーファンド	千円 300,753	% 99.1
コール・ローン等、その他	2,839	0.9
投資信託財産総額	303,592	100.0

(注) 南アフリカ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(300,380千円)の投資信託財産総額(302,547千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 南アフリカランド=8.39円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末
	2017年4月18日現在	2017年5月18日現在	2017年6月19日現在	2017年7月18日現在	2017年8月18日現在	2017年9月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	285,253,117	293,604,970	305,227,683	304,218,225	292,649,369	303,592,615
コール・ローン等	941,657	1,268,283	1,072,890	1,062,355	1,056,445	1,044,705
南アフリカ債券マザーファンド(評価額)	282,636,252	290,848,819	302,480,089	301,523,688	289,921,825	300,753,894
未収入金	1,675,208	1,487,868	1,674,704	1,632,182	1,671,099	1,794,016
(B) 負債	1,961,998	2,017,684	2,033,452	2,016,149	2,021,099	2,143,314
未払収益分配金	1,646,120	1,656,423	1,650,438	1,655,028	1,669,214	1,687,896
未払解約金	—	21,763	11,999	29,999	—	85,635
未払信託報酬	314,871	338,413	369,829	330,064	350,763	368,601
未払利息	1	1	2	1	1	2
その他未払費用	1,006	1,084	1,184	1,057	1,121	1,180
(C) 純資産総額(A-B)	283,291,119	291,587,286	303,194,231	302,202,076	290,628,270	301,449,301
元本	365,804,591	368,094,077	366,764,024	367,784,213	370,936,629	375,088,011
次期繰越損益金	△ 82,513,472	△ 76,506,791	△ 63,569,793	△ 65,582,137	△ 80,308,359	△ 73,638,710
(D) 受益権総口数	365,804,591口	368,094,077口	366,764,024口	367,784,213口	370,936,629口	375,088,011口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,744円	7,922円	8,267円	8,217円	7,835円	8,037円

○損益の状況

項 目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2017年3月22日～ 2017年4月18日	2017年4月19日～ 2017年5月18日	2017年5月19日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月18日	2017年8月19日～ 2017年9月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 26	△ 31	△ 35	△ 35	△ 32	△ 64
受取利息	—	—	—	—	—	1
支払利息	△ 26	△ 31	△ 35	△ 35	△ 32	△ 65
(B) 有価証券売買損益	△ 30,593,200	8,468,911	14,622,166	209,397	△ 12,014,896	9,479,902
売買益	489,416	8,489,672	14,714,322	345,885	7,107	9,651,240
売買損	△ 31,082,616	△ 20,761	△ 92,156	△ 136,488	△ 12,022,003	△ 171,338
(C) 信託報酬等	△ 315,877	△ 339,497	△ 371,013	△ 331,121	△ 351,884	△ 369,781
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 30,909,103	8,129,383	14,251,118	△ 121,759	△ 12,366,812	9,110,057
(E) 前期繰越損益金	△ 29,871,852	△ 62,346,795	△ 55,210,315	△ 42,216,948	△ 43,892,125	△ 57,006,805
(F) 追加信託差損益金	△ 20,086,397	△ 20,632,956	△ 20,960,158	△ 21,588,402	△ 22,380,208	△ 24,054,066
(配当等相当額)	(25,715,780)	(26,267,621)	(26,588,609)	(27,266,552)	(28,047,793)	(29,706,115)
(売買損益相当額)	(△ 45,802,177)	(△ 46,900,577)	(△ 47,548,767)	(△ 48,854,954)	(△ 50,428,001)	(△ 53,760,181)
(G) 計(D+E+F)	△ 80,867,352	△ 74,850,368	△ 61,919,355	△ 63,927,109	△ 78,639,145	△ 71,950,814
(H) 収益分配金	△ 1,646,120	△ 1,656,423	△ 1,650,438	△ 1,655,028	△ 1,669,214	△ 1,687,896
次期繰越損益金(G+H)	△ 82,513,472	△ 76,506,791	△ 63,569,793	△ 65,582,137	△ 80,308,359	△ 73,638,710
追加信託差損益金	△ 20,086,397	△ 20,632,956	△ 20,960,158	△ 21,588,402	△ 22,380,208	△ 24,054,066
(配当等相当額)	(25,734,082)	(26,273,732)	(26,598,015)	(27,278,941)	(28,060,470)	(29,737,024)
(売買損益相当額)	(△ 45,820,479)	(△ 46,906,688)	(△ 47,558,173)	(△ 48,867,343)	(△ 50,440,678)	(△ 53,791,090)
分配準備積立金	49,369,217	49,606,555	49,558,107	49,170,391	49,145,322	48,796,117
繰越損益金	△ 111,796,292	△ 105,480,390	△ 92,167,742	△ 93,164,126	△ 107,073,473	△ 98,380,761

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 369,219,395円
 作成期中追加設定元本額 31,718,044円
 作成期中一部解約元本額 25,849,428円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8037円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は73,638,710円です。

③分配金の計算過程

項 目	2017年3月22日～ 2017年4月18日	2017年4月19日～ 2017年5月18日	2017年5月19日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月18日	2017年8月19日～ 2017年9月19日
費用控除後の配当等収益額	1,543,676円	1,957,248円	2,191,084円	1,724,036円	1,757,710円	2,120,348円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	25,734,082円	26,273,732円	26,598,015円	27,278,941円	28,060,470円	29,737,024円
分配準備積立金額	49,471,661円	49,305,730円	49,017,461円	49,101,383円	49,056,826円	48,363,665円
当ファンドの分配対象収益額	76,749,419円	77,536,710円	77,806,560円	78,104,360円	78,875,006円	80,221,037円
1万口当たり収益分配対象額	2,098円	2,106円	2,121円	2,123円	2,126円	2,138円
1万口当たり分配金額	45円	45円	45円	45円	45円	45円
収益分配金金額	1,646,120円	1,656,423円	1,650,438円	1,655,028円	1,669,214円	1,687,896円

○分配金のお知らせ

	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
1 万口当たり分配金 (税込み)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2017年9月19日現在)

<南アフリカ債券マザーファンド>

下記は、南アフリカ債券マザーファンド全体(250,941千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第65期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
南アフリカ	千南アフリカランド 42,650	千南アフリカランド 34,434	千円 288,908	% 96.1	% —	% 92.4	% 2.5	% 1.1
合 計	42,650	34,434	288,908	96.1	—	92.4	2.5	1.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第65期末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
南アフリカ		%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円		
	国債証券	10.5	7,150	8,112	68,062	2026/12/21	
		6.25	16,900	12,292	103,135	2036/3/31	
		6.5	16,000	11,423	95,841	2041/2/28	
		6.75	300	295	2,478	2021/3/31	
		7.25	600	602	5,056	2020/1/15	
		7.75	1,300	1,302	10,931	2023/2/28	
		8.0	400	405	3,402	2018/12/21	
合 計					288,908		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

南アフリカ債券マザーファンド

《第5期》決算日2017年3月21日

[計算期間：2016年3月19日～2017年3月21日]

「南アフリカ債券マザーファンド」は、3月21日に第5期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、南アフリカの国債、政府機関債、政府保証債ならびに南アフリカランド建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	南アフリカランド建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南 ア フ リ カ		債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰	中 落 率	(円ベース)	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	%		%	%	%	百万円
2012年4月10日	10,000	—	355.96	—	—	—	299
1期(2013年3月18日)	11,269	12.7	406.61	14.2	97.1	—	322
2期(2014年3月18日)	10,292	△ 8.7	370.94	△ 8.8	96.4	—	294
3期(2015年3月18日)	12,035	16.9	432.53	16.6	96.0	—	313
4期(2016年3月18日)	8,938	△25.7	325.86	△24.7	95.3	—	227
5期(2017年3月21日)	12,381	38.5	452.48	38.9	95.7	—	318

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南 ア フ リ カ (円ベース) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円ベース) のサブインデックスです。J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロ ー バ ル ・ ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円ベース) とは、J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー が 算 出 し 公 表 し て いる 指 数 で、現 地 通 貨 建 て の エ マ ー ジ ン グ 債 市 場 の 代 表 的 な イ ン デ ッ ク ス で す。現 地 通 貨 建 て の エ マ ー ジ ン グ 債 の う ち、投 資 規 制 の 有 無 や、発 行 規 模 等 を 考 慮 し て 選 ば れ た 銘 柄 に よ り 構 成 さ れ て い ます。著 作 権 は J . P . モ ル ガ ン ・ セ キ ュ リ テ ィ ー ズ ・ エ ル エ ル シ ー に 帰 属 し て お り ます。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) J P モ ル ガ ン G B I - E M 南 ア フ リ カ		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2016年3月18日	円 8,938	% —	325.86	% —	% 95.3	% —
3月末	9,209	3.0	334.98	2.8	94.9	—
4月末	9,404	5.2	342.61	5.1	94.7	—
5月末	8,580	△ 4.0	309.89	△ 4.9	93.7	—
6月末	8,946	0.1	322.66	△ 1.0	94.9	—
7月末	9,574	7.1	345.91	6.2	95.9	—
8月末	9,142	2.3	331.46	1.7	95.3	—
9月末	9,584	7.2	351.88	8.0	97.7	—
10月末	9,962	11.5	363.74	11.6	96.2	—
11月末	10,574	18.3	383.59	17.7	95.9	—
12月末	11,357	27.1	410.17	25.9	93.6	—
2017年1月末	11,239	25.7	408.83	25.5	94.4	—
2月末	11,699	30.9	427.15	31.1	94.1	—
(期 末) 2017年3月21日	12,381	38.5	452.48	38.9	95.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

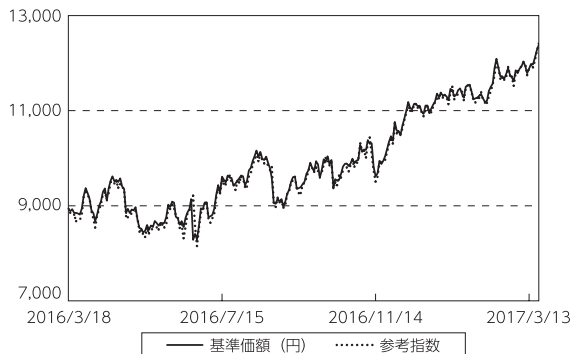
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ38.5%の上昇となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

南アフリカの債券市場では、金利は低下しました。中国の景気減速懸念が後退し、グローバルな景気回復期待などを背景に商品市況が改善する中、南アフリカなど相対的に高金利国の債券に資金が流入する展開となり、南アフリカを含む新興国の金利は低下基調で推移しました。なお、2016年7月から11月にかけては、日欧の非伝統的な金融緩和策の限界が意識され、追加緩和期待が後退したことや米連邦公開市場委員会（FOMC）による追加利上げのペースが速まるとの思惑が台頭したことなどから南アフリカの金利も一時的には上昇したものの、期を通じてみると金利は低下しました。

◎為替市況

南アフリカランドは対円で上昇しました。グローバルな景気回復期待などを背景に商品市場への期待が上昇したことを受けて、南アフリカランドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・南アフリカランド建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・流動性などを勘案し、国債のみのポートフォリオを維持しました。
- ・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は参考指数比中立から長めでコントロールしました。期首から2016年7月中旬にかけては、中国の景気減速懸念の後退などを背景に資源価格が堅調に推移したことから、南アフリカなど新興国の金利も低下が見込まれた一方、同国のインフレ圧力が高止まりしており、利上げ観測が高まっていることなどが金利上昇要因となると判断し、参考指数比中立を維持しました。その後、10月末にかけては、通貨高などを背景に同国のインフレ率が中央銀行のターゲットレンジの上限付近まで低下し、利上げ観測が後退したことなどから金利低下を見込み、参考指数比長めを維持しました。その後、期末にかけては、グローバルな景気回復期待や底堅い資源価格などが同国の金利低下要因となるも、インフレ率が再び上昇基調に転ずるなど、利下げ期待が後退したことが金利上昇要因となると判断し、中立を維持しました。
- ・債券の利子収入や南アフリカの金利が低下したことに加え、南アフリカランドが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・南アフリカの貿易相手国として重要な中国の景気減速懸念の後退や鉄鉱石など資源価格が底堅いことから、外部環境は比較的良好な状況が継続しやすいとみています。
- ・一方で、南アフリカの国内経済においては、中間所得層の増加などを背景に底堅い個人消費の伸びが期待されるものの、高インフレの継続により個人消費が伸び悩んでいることや、若年層を中心とした失業率の高さ、電力不足による生産活動の低迷などを背景に景気回復の速度は緩慢であるとみています。
- ・今後は、本国通貨の安定などを背景とした高インフレの是正や経常収支面の改善など、マクロファンダメンタルズの動向を注視しつつ、国内の政治状況や格付会社動向については留意が必要です。

◎今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを継続する方針です。

（種別構成）

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

（デュレーション）

- ・南アフリカの今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月19日～2017年3月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	5	0.047	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(4)	(0.043)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	(0)	(0.004)	
期中の平均基準価額は、9,939円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月19日～2017年3月21日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 11,491	千南アフリカランド 8,567

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月19日～2017年3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年3月21日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
南アフリカ	千南アフリカランド 40,050	千南アフリカランド 34,245	千円 304,781	% 95.7	% —	% 77.2	% 13.4	% 5.1
合 計	40,050	34,245	304,781	95.7	—	77.2	13.4	5.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 務 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
南アフリカ	%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円			
国債証券	10.5	SOUTH AFRICA 261221	6,150	6,983	62,151	2026/12/21	
	6.25	SOUTH AFRICA 360331	9,000	6,688	59,526	2036/3/31	
	6.5	SOUTH AFRICA 410228	16,400	12,185	108,448	2041/2/28	
	6.75	SOUTH AFRICA 210331	3,300	3,199	28,475	2021/3/31	
	7.25	SOUTH AFRICA 200115	1,600	1,591	14,160	2020/1/15	
	7.75	SOUTH AFRICA 230228	1,800	1,779	15,834	2023/2/28	
	8	SOUTH AFRICA 181221	1,800	1,818	16,184	2018/12/21	
合 計					304,781		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年3月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 304,781	% 95.2
コール・ローン等、その他	15,423	4.8
投資信託財産総額	320,204	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(312,162千円)の投資信託財産総額(320,204千円)に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1南アフリカランド=8.90円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年3月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	320,204,859
コール・ローン等	9,595,470
公社債(評価額)	304,781,852
未収利息	5,323,681
前払費用	503,856
(B) 負債	1,669,949
未払解約金	1,669,940
未払利息	9
(C) 純資産総額(A-B)	318,534,910
元本	257,277,389
次期繰越損益金	61,257,521
(D) 受益権総口数	257,277,389口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,381円

<注記事項>

- ①期首元本額 254,881,435円
 期中追加設定元本額 30,748,636円
 期中一部解約元本額 28,352,682円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2381円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

Navio 南アフリカ債券ファンド 257,277,389円

【お知らせ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。(2016年7月1日)

○損益の状況 (2016年3月19日～2017年3月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,284,653
受取利息	24,285,489
支払利息	△ 836
(B) 有価証券売買損益	62,746,908
売買益	62,838,524
売買損	△ 91,616
(C) 保管費用等	△ 118,541
(D) 当期損益金(A+B+C)	86,913,020
(E) 前期繰越損益金	△27,063,351
(F) 追加信託差損益金	1,282,830
(G) 解約差損益金	125,022
(H) 計(D+E+F+G)	61,257,521
次期繰越損益金(H)	61,257,521

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。